※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	音楽Ⅱ　Tutti＋　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●音楽の学習は主体的（自分から求めて動く）に行ってほしいと思います。そして自分自身を表現できることの楽しさや、音楽に対する豊かな感性を身につけましょう。
●音楽Ⅰで学習した内容をさらに深め、「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」のそれぞれの分野を学習します。芸術音楽だけでなく、幅広くポピュラー音楽等も取り入れます。
●評価は、出席及び取り組み状況・ワークシート等の状況・実技テストで行います。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
(1) 音楽の構造や文化的・歴史的背景について、それらの価値を考え理解を深めることができる。また、自身の解釈を持って音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。
(2) 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらを音楽的思考で感受しながら自身の解釈を持って音楽を評価し、歌唱・器楽・創作・鑑賞の音楽表現を工夫することができる。
(3) 音や音楽、音楽文化を関連付け、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深め、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりしている。【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、自身の解釈を持って歌唱、器楽、創作で表している。【技能】	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらを音楽的思考で感受しながら自身の解釈を持って音楽を評価し、歌唱・器楽・創作・鑑賞の音楽表現を工夫している。	・音や音楽を音楽文化に関連付けて関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	豊かな声で歌おう	【歌唱】 ・365日の紙飛行機 ・Tomorrow ・島唄	a:【知】様々な表現形態による歌唱表見の特徴を理解している。 【技】曲にふさわしい発声とことばの発音で歌えている。 b：馴染みのあるリズムや旋律を知覚し、自己のイメージをもってのびのびと歌おうとしている。 c:一定の声量を出して主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	指使いの応用	【器楽】 鍵盤楽器 チューリップ 手をたたきましょう ・メロディーの演奏 ・コード学習（C,F,G） ・アレンジを加えて ・伴奏	a:【知】リズムとメロディー・和音について知り、それらの関わり合いについて理解を深めている。 【技】 適切な指使いと創意工夫を生かした伴奏アレンジで楽曲を演奏している。 b: メロディー及び3つのコード（C・F・G）の和音の響きを感受し、適切な指使いで弾こうとしている。 c:既習内容を復習しながら主体的・協働的に鍵盤楽器の応用演奏学習に取り組もうとしている。	実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
二学期	気持ちを込めて歌おう 合唱を楽しもう	【歌唱】 ・糸 ・Pretender ・歌の翼に 【合唱】 ・大きな古時計 ・Moon River ・You are my sunshine	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現・合唱表現の特徴を理解している。 【技】音楽記号や和音を理解して表現につなげる技能を身に付けている。 b. 楽曲と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持って、意欲的に歌おうとしている。 c:一定の声量を出して主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

	和楽器のアンサンブルに挑戦しよう	【器楽】 箏 ・練習曲 ・おどるポンポコリン	a:【知】「弱押」「合わせ指」の奏法を理解して楽曲の特性を理解している。 【技】「弱押」「合わせ指」を的確に演奏し、アンサンブルで表現する技能を身に着けている。 b:「弱押」「合わせ指」の響きを感受し、適切な奏法で弾こうとしている。 c:既習内容を復習しながら主体的・協働的に箏アンサンブルに取り組もうとしている。	実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	楽器のルーツを辿ろう	【鑑賞】【創作】 楽器の分類 ・E・HとK・Zによる5分類法のさらなる分類 ①弦鳴楽器のチター族 ②体鳴楽器のはじく形 ・各分類項目の主な楽器の演奏鑑賞 ・カリンバ（親指ピアノ）演奏	a:【知】 チター族楽器の構造や発音のしくみを理解し、それぞれの地域のチター楽器の特色を理解できている。 【技】カリンバの特徴や奏法を理解し演奏する技能を身に着けている b: チター楽器やカリンバの音楽的特性を理解し、適切な奏法で演奏しようとしている。 c:主体的・協働的に演奏学習に取り組もうとしている。	ワーク シート 実技発表	観察 ワーク シート	観察
三学期	外国の歌を歌おう	【歌唱】 ・Yesterday once more ・草原情歌 ・トラジ打鈴	a:【知】楽曲と文化的・歴史的背景との関わりや言語の特性を理解している。 【技】曲にふさわしい発声及び言語の特性を生かして歌っている。 b: 世界のあらゆる国や地域の音楽の特徴を感受し、それらを意識して歌おうとしている。また、自身の知る世界の楽曲について積極的に意見を述べようとしている。 c:世界のあらゆる国や地域の歌唱に主体的・協働的に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	アンサンブルを楽しもう	【カノン演奏】 ・キーボード，木琴，鉄筋 【器楽演奏】 ・打楽器，ハンドベル等	a:【知】カノン形式や様々な楽器の特性について理解を深めている。 【技】 表現効果を高めてカノン形式や器楽演奏ができている。 b: 音楽表現を工夫し、どのように表現するか意図を持って取り組もうとしている。 c: カノン形式やアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度